

おふろ

三年 佐藤豊三郎（昭和三四年度）

小さい妹をおふろに連れて行く。

手ぬぐいで頭にハチマキしておんぶして

ホイホイ調子を取って歩いた。

背中で妹がホイホイホイ、

お風呂の戸を開けたら雲のように外に流れた。

妹が一人で裸になる。

大きなポンプだね。

自分のおなかをたたいて僕を見上げる。

やわらかい髪の毛にせっけんをたくさんつけて

くるくる回してぴんと立てる。

かわいいなあとまた思う。

両方のほつぺたからあたたかい湯のおいがする。

また妹をおんぶしておうちに帰る。

妹はもう何もいわずに背中にもたれている。

ねむったのかなあ。